

わが村は美しく

網走市編

第十二回 NPO 特別賞
網走市豊郷神楽保存会



さんけんまい
昨年8月に上演された10幕の「三剣舞」は、世の邪悪を切り捨てる祈祷の舞。



110周年を記念して制作された伝承誌「北の大地に舞い降りた神々」

お話をしてくれた人



網走市豊郷神楽保存会 会長
井上 利則 さん

オホーツク開拓の歴史
神楽舞で地域を守る



明治の姿を今も！
地域の伝統芸能「豊郷神楽」を
二六年間休むことなく奉納

北海道の東側、オホーツク海に面した網走市。JR網走駅から、東へ十きほどのところに豊郷地区がある。ここで活動しているのが、網走市豊郷神楽保存会だ。会の設立は一九六五（昭和四〇）年だが、活動を紹介するには、一九〇九（明治四二）年までさかのぼる必要がある。会長の井上利則さんは語る。

「豊郷地区の始まりは、宮城県より五人が家族とともに入植した時とされています。入植者の慰安娯楽を通じて農業生産の意欲を高める方法を模索していた時、たまたま入植者に仙台神楽の心得があったことから豊郷神楽につながったのです。以来、地域や青年団が継承し、戦時中も途切れることなく、

今年で二六周年目を迎えます。これを保存継承することを目的に継続した活動を行っています」

豊郷神楽は毎年八月一日に豊郷神社で奉納される。神楽の演目は全十二幕。「一幕、幣舞（へいまい）」から十二幕「獅子舞」まで舞に名前が付けられ、この中から毎年演目選んで披露している。

保存会では、伝承活動として一九九六年から網走東小学校の五・六年生が地域の伝統芸能の豊郷神楽を学ぶ総合的学習をバックアップしてきた。小学生は、全十二幕の由来や意味などを調べたり、保存会のメンバーから直接指導を受けたりして、学芸会で学習成果の発表を行っていた。

一〇〇周年を迎えて、継続に一層の思いを募らせていたが、二〇一四年三月には、会員数が十三人まで減少。それに危機感を覚えた保存会では、今まで

第11回コンクール



参加しよう、広げよう、いいもの伝えよう
「わが村は美しく－北海道」運動

網走市へは、JR石北本線網走駅で下車。周辺を散策するなら駅レンタカーを利用すると便利。豊郷神楽は、今年も8月1日に開催される。神楽の様子はYouTubeでも見られるのでぜひ視聴を。詳しい観光情報は網走市観光協会などのホームページを参考にしてください。

お問い合わせ／網走市豊郷神楽保存会 会長 井上さん ☎090-9082-0587



4 沖縄県糸満市の年越しイベント「いとまんピースフルイルミネーション」で豊郷神楽を披露した。



3 豊郷神社奉納の様子。高々と掲げられた豊験あらたかな幟(のぼり)。



8 神楽創始の明治時代に手づくりされた面。100年以上使い続けている。



7 12幕それぞれに衣装があり、補修しながら使い続けている。



6 小学校の総合学習の授業として行われていた神楽の練習風景。



5 1幕の「幣舞」は、鳥兜をつけた二名が幣束(へいそく)と鈴で四方を清め神を呼び寄せる舞。

地域の人々の熱い思いも 時を超えて受け継がれて

集落出身の農家の長男に限定していた会員資格を、小学校で体験学習してきた中高生などの経験者をはじめ女性や市外在住者などに広げた。同年八月の神楽奉納では、男女七人と網走東小学校の五・六年生と中学二年生八人が初舞台を経験した。

四年前に会長に就任した井上さんは、祖父から数え三代目の会員となる。「伝統芸能の基本は口承伝承であったため、このままでは豊郷神楽の正確な伝承はできないと考え、神楽のルーツを探り、記録することに熱心に取り組みました」と井上さん。親神楽(元となる神楽)といわれている、宮城県(の)「君萱若松神社神楽」へ出向き、史料調査を行いその歴史を記録。二〇周年には、伝承誌「北の大地に舞い降りた神々」を残した。また、お囃子(はやし)は篠笛(あおえ)、大太鼓、

小太鼓で構成される。五年前には、初めて二幕目の「幣舞」でお囃子の譜面化に成功した。さらに十二幕の舞を図解表記や、練習用の映像を製作。神楽の様子は、YouTubeでも見られるようになっている。

保存会の探究心は、面や小道具、衣装、楽器にも及んでいる。面は、創始者の時代から受け継がれたものを今でも使っており、道具や衣装も同様に、大切に大切に扱われている。

二〇一七年には、沖縄県糸満市との友好都市十五周年を記念して、会員十三人が糸満市の年越しイベントで豊郷神楽を上演。翌年二月には、糸満市から十二人の中学生が網走を訪れ、豊郷神楽とエイサー体験を行い交流会も開催した。

転勤がきっかけで会員となった三年目の佐々木湊介さんは「篠笛の担当として、本番直前まで練習中です。地域に馴染むきっかけとなり、保存会に参加して良かった」と話す。会の活動を次の二〇〇年も続けるため、新たな挑戦は続いている。①



「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために、2001年にスタートしました。2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。コンクールは1年目に優秀賞、奨励賞を表彰し、2年目に優秀賞から大賞を決定。地域の資源を掘り起こし、地域の活力とすると同時に活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

お問い合わせ／国土交通省 北海道開発局 農業水産部農業振興課 ☎ 011・709・2311 (内線5685)

